



JSQC ニュース

No.281

発行 社団法人 日本品質管理学会

東京都杉並区高円寺南1-2-1 (財)日本科学技術連盟東高円寺ビル内

電話.03 (5378) 1506 FAX.03 (5378) 1507

ホームページ:www.jsqc.org/

CONTENTS

- 1-トピックス 「個人情報保護とQC的センス」
- 2-私の提言 「安心・安全社会」と「地べた学」
- 2-ルポルタージュ 第327回関西事業所見学会ルポ
- 3-受章おめでとうございます/第37年度事業計画
- 4-研究助成募集のお知らせ/行事案内/新規研究会募集/10月の入会者紹介

「個人情報保護とQC的センス」

東京情報大学 教授 畠中 伸敏

輸出業者などがEUC域内で個人データを移動する場合、OECDの8原則に従って適切に個人情報が保護されることがEU指令25条によって義務付けられた。日本ではこれを受けて個人情報保護法が2003年5月30日に制定され、2005年4月1日に全面施行された。

個人情報保護法を巡っては、賛否両論があり、過剰反応、過小評価、萎縮効果と評されている。同法を制定した効果や有用性について検証し、個人情報保護のあり方を考える。

OECDの8原則(個人情報保護の原則)

OECDの8原則とは不正取得の禁止、利用目的の明確化、目的外利用の制限、安全措置、データの正確性、利用目的等の通知及び公表、訂正・利用停止権等の個人参加、適切な苦情処理を原則として謳ったもので、個人情報保護法の第4章に法制化された。

また個人情報保護法第一条(目的)には「(健全な事業の発展のために)個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護することを目的とする」ことを定めた。

個人情報の漏えいによる問題

個人情報の漏えいが起こると、

- ①SPAMメールが増える
 - ②訪問販売が増える
 - ③アポイントセールスが増える
- である。

ところでコンピュータの発達という、メモリーやc.p.u.速度はすぐに思い浮かぶが、犯罪の背景にはマッチングの技術の発展が大きく起因し、瞬時に騙され易い人を探し出す。

実際2004年1月17日に発生した三洋信販の事件では、架空請求詐欺の被害に遭う確率は、漏えいした個人情報の3000人に1人という非常に小さい確率であるが、116万件の流出情報の中からマッチングで「架空請求詐欺に騙されやすい人間」が容易に絞り込まれたものと考えられる。

個人情報保護法の制定後も、2007年3月12日には大日本印刷のDM印刷863万名分の流出と続き、個人情報保護法の効果が揶揄された。

個人情報保護法とJIS規格による効果

しかし経済産業省に寄せられた「報告件数の推移」では、個人情報の漏えいが平成17年度は1,169件であったものが、平成18年度は785件と、33%減少している。個人情報保護法の全面施行後、2年目には効果が現われた。

一方、個人情報の取扱いを要求事項として定めたJIS Q 15001の取得の効果は、(財)日本情報処理開発協会プライバシーマーク事務局の『平成17年度の個人情報の取扱いにおける事故報告に見る傾向と注意点』によれば、P-mark取得企業の個人情報の事件・事故の原因の上位は誤配送等が71.5%、置き引きが9.2%で、従業員に

よる持ち出しや、紛失は激減している。

JIS Q 15001は2006年に改訂され、マネジメントシステムの考えが導入された。また個人情報の取扱いで発生する「個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏えい」のリスクが発生しないように、個人情報のライフサイクルに沿ってリスク分析し、残存リスクを推定することが要求事項となった。認証取得すると、その証として「P-mark」が授与される。

know howからknow why

個人情報が漏えいすると、すぐに業者がやって来て、セキュリティを高めるためにはお金が必要ですとよい、狭い部屋に監視カメラが増え、総ガラス張りの部屋をスイッチ一つで見えないようにする装置など高い商品を購入させられる。その割には是正処置票には原因不明というものが多し。

個人情報が漏えいした現場に立ってみると、どことなく、従業員に落ち着きがなく、管理者が離席し、コンピュータールームが倉庫のようになっている。これは再発しますねという、キョトンした顔で「どうしたらいいのですか」と尋ねてくる。恐らくQC屋であるならば、徹底して原因を追究し、原因が分かったところで、処置する。情報セキュリティや個人情報の保護に関してもQC的センスが必要である。

● 私 の 提 言 ●

「安心・安全社会」と「地べた学」

製品評価技術基盤機構 (NITE) 矢野 友三郎



工業製品と伝統工芸品を比べると、工業製品は出来上がったときに最高の品質性能であるのに対して、伝統工芸品は使えば

使うほど本来の美しさが出て綺麗になるという違いがある。例えば、漆の器や重箱は、年代とともに光沢を増し愛好家を喜ばせる。しかし、工業製品は、年代とともに製品の劣化が始まり、最悪の場合には製品事故を引き起こす。

2年ほど前、死亡事故を起こしマスクミで大きく取り上げられた石油ファンヒーター、製造後20年近い製品で、メーカーの想定耐用年数を超えてい

た。事故の原因は、本体ではなく取り付け部品の排気ホースの劣化、亀裂が原因であった。特に高分子材料、いわゆるプラスチック製品の長期使用の経年劣化は要注意である。

最近の製品は使用する材料も多種多様で、使用や保管状況によっては、思わぬところで事故が起きる。実生活でも、古くなった輪ゴムが切れたり、古くなった庭のホースが硬化しひび割れ等を目にするように、製品の経年劣化リスクは避けられない。食品や飲料水には消費期限があり、期限を過ぎたものは廃棄するが、工業製品についても、時々、古くなったものは製品の経年劣化を管理・点検する習慣をもつ必要がある。

日本の社会は警察の交番システム

に代表されるように、安全・安心を国に期待する傾向が強いが、いつまでも安全・安心を国だけに頼るには限界がある。今年4月、欧州委員会は、危険な消費者製品として撤収した約半数が中国製だったことを明らかにし、安全は国内だけの問題でなくなり、自分のことは自分で守るという自覚も問われる。

今後は、問題を受けての対症療法的な対応や企業への批判だけでは、安全・安心の質を高めていくことは出来ない。踊る大捜査線の名台詞、「事件は会議室で起こっているんじゃない！現場で起きているんだ!!」の如く、関係者が現場でお互いに切磋琢磨しながら安全・安心の最適解を見つけていくことが大事である。学会も論文だけ書くのではなく、現場に出かけ、「安全」という「土台」、つまり「地べた」の重要性を訴え、より安全な品質管理、商品開発に向けた企業努力を促すことも考えて良いのではないかと。

第327回関西 事業所見学会 ルポ

(株)川喜 HACCP認定工場

さる2007年8月28日(火)に第327回事業所見学会が、大阪府堺市にある(株)川喜にて開催され、「食の安全性を究める 対米水産HACCP認定工場の取り組み」のテーマの下、24名が参加しました。

同社は、1961年に堺市にて創業し、水産加工品の製造・販売をしています。2001年にHACCP対応工場を建設し、2005年に対米輸出水産食品加工施設としてHACCP認証を取得されました(大阪府第1号)。

見学に先立ち総括部長が挨拶され、現在のHACCP認定工場の特徴を説明していただきました。FDA-HACCPの要求として、木製の器具は一切使用禁止であるので、包丁の柄を樹脂製に替えて対応したが、和包丁の木製の湿り気が手に馴染みしっかり握れるし、包丁自体の重さを利用し切るものである。作業性と衛

生を両立させなければ競争社会で生き残れないので、和包丁の衛生管理ができることを科学的に証明することを検討したいという前向きな姿勢は感銘を受けました。

工場を訪問して最初に感じたのが、魚の臭いがしないということでした。現場に案内されて初めて「ここは水産会社」とわかる臭いがしました。それも私が経験した中でもっとも魚臭がしない水産加工工場でした。

特に魚のあらなどの廃棄物においても、業者が引き取りにくるまで、別室で冷蔵保管し腐敗臭からの虫の誘因侵入防止と腐敗菌の抑止・拡散防止を実施されており、廃棄物なのに温度管理が必要となる実態をみる事ができました。目に見えない臭いを相手によく管理されており、その苦勞を慮るとほとほと感心する次第です。

工場内では、冷凍魚を仕入れし、半解凍状態で切り身にして包装したり、切り身に味付けや衣をつけたりする工程を懇切丁寧に説明していただきました。見学者の質問にもわかりやすく回答していただき、参加者全員が満足できた見学会となりました。

伊瀬知 栄一(キング醸造(株))

おめでとうございます

豊田章一郎氏、桐花大綬章を受章

本学会元会長、名誉会員のトヨタ自動車(株)名誉会長 豊田章一郎氏が、平成19年度秋の叙勲において標記の勲章を受章されました。

豊田氏は、1952年トヨタ自動車工業に入社後、社長在任中に米国などの海外生産戦略を進め、トヨタを世界のトップメーカーに育て上げられました。この10月には世界の自動車産業への貢献が認められ、米国の「自動車殿堂」入りも果たさ

れております。

また、経団連会長としても行財政改革など国家的課題に取り組まれるとともに、2005年の愛知万博では博覧会協会会長の務め、入場者数は計画を大幅に上回り、大成功に導かれました。

豊田氏の益々のご活躍を祈念するとともに、心からお祝い申し上げます。

松浦剛氏が藍綬褒章を受章

本学会元中部支部長で豊田合成(株)取締役社長 松浦 剛氏が、平成19年度秋の叙勲で標記の褒章を受章されました。

松浦氏は、トヨタ自動車を経て平成12年に豊田合成副社長に就任、翌年から社長として「グローバルシステムサプライ

ヤー」を提唱し、ものづくり企業としての経営基盤の強化に尽力されました。また、諸団体の役員としても業界および地域の発展に貢献されています。

受章おめでとうございます。

(社)日本品質管理学会第37年度事業計画

行事 / 月	H19 10月	11月	12月	H20 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
年次大会・通常総会	第37回 27日(土)												第38回 11/8(土) 東工大
研究発表会	本部							第86回 31(土)-1(日)					
	中部									第87回			
	関西											第88回	
講演会	第99回 2日(火) 本部							第103回 関西	第104回 中部	第105回 本部			
ヤングサマーセミナー											第15回		
シンポジウム			第118回 15日(土) 本部			第119回 本部 第120回 関西				第121回 中部	第122回 関西	第123回 5日(金) 本部	
事業所見学会	本部					第330回		第332回		第335回			
	中部							第333回				第337回	
	関西				第329回		第331回	第334回	第336回				
クオリティパブ		第58回 13日(火)		第59回 25日(金)		第60回		第61回		第62回		第63回	
その他の行事	5th ANQ 17(水)-18(木)		インカレゼミ 1日(土)			ANQボード ミーティング 27-28東京							6th ANQ 28-31 バンコク
会合 / 月	H19 10月	11月	12月	H20 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
理事会	364回 11日(木)		365回 4日(火)			366回 3日(月)		367回		368回		369回	370回
庶務・会員サービス・規定・ 広報・Web・会計合同委員会	4日(木)	29日(木)			25日(月)								
論文誌編集委員会	9日(火)	8日(木)	10日(月)	10日(木)	18日(月)	14日(金)	21日(月)	27日(火)	27日(金)	—	4日(月)	3日(水)	9日(木)
学会誌編集委員会	5日(金)			15日(火)									
事業委員会	10日(水)	19日(月)	17日(月)	30日(水)	—	21日(金)							

※論文投稿は委員会の開催10日前までをお願いいたします。直前の投稿では審査開始が遅れることがあります。

事務局からのお知らせ

(社)日本品質管理学会30周年記念事業
第37年度研究助成募集要項

1. 趣 旨

21世紀を担う若手研究者や海外からの留学生に対し、その研究活動をサポートすることを目的とします。個人の研究への助成はもちろん、同じようなテーマを抱えた少数の若手研究者の研究集会への助成、海外の若手研究者の招聘への助成なども含みます。

2. 助成金額：1件10万円 5件以内

3. 期 間：1年間（第37年度：平成19年10月から平成20年9月）

4. 募集の対象

選考時に申請者が(社)日本品質管理学会の正会員もしくは準会員であり、次のいずれかの条件を満たす者としてします。なお、本研究助成を過去2回採択されたことがある場合は対象から除外します。また、(2)の条件を満たす者については選考時に考慮をいたします。

(1)申請時に35歳以下であり、大学、研究所、研究機関、教育機関等において研究活動に従事する者。

(2)申請時に日本の大学院に在籍する外国籍の留学生。

(3)申請時に35歳以下であり、海外の大学、研究所、研究機関、教育機関等において品質管理についての研究活動に従事する者で(社)日本品質管理学会の主催する諸行事、または品質管理に関連する研究集会に参加しようとする者。ただし、申請は招聘者が行うこととします。

5. 助成対象：品質管理に関連した研究に対する助成を対象とします。

6. その他の申請条件

(1)報告書は所定の様式で提出してください。

(2)研究成果を当学会誌へ投稿、あるいは研究発表会などで発表することを奨励します。

(3)学生が申請をする場合、申請時に指導教官・指導教員の所見を必要とします。

7. 申請の方法

所定の「(社)日本品質管理学会 研究助成交付申請書」を用いてください。申請書の様式はホームページを参照してください。

8. 募集期間：平成19年12月～平成20年3月末日

9. 選考方法

(社)日本品質管理学会研究助成委員会が審査選考を行います。

10. 決定通知

平成20年4月中に通知します。なお、決定数が5件に達していない場合、追加募集をすることもあります。

11. 申請書提出先

(社)日本品質管理学会 本部事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1

TEL 03-5378-1506 FAX 03-5378-1507

E-mail: office@jsqc.org, URL: www.jsqc.org

行 事 案 内

●第36回研究発表会（本部）発表募集

日 時：2008年5月31日(土)・6月1日(日)

会 場：日本科学技術連盟
東高円寺ビル

(1)申込期限

発表申込締切：3月17日(月)

予稿原稿締切：4月21日(月)必着

参加申込締切：5月21日(水)

(2)研究発表・事例発表の申込方法

同封の発表申込要領をご覧ください。

(3)参加申込

3月送付の参加申込書にご記入の上、
本部事務局までお申し込みください。

●第59回クオリティバブ（本部）

テーマ：成熟市場における商品開発事例
ーカロリーコントロールアイスー

ゲスト：島森清孝氏（江崎グリコ(株)）

日 時：2008年1月25日(金)18:00～20:30

会 場：日科技連 東高円寺ビル5階

2007年10月の
入会者紹介

2007年10月11日の理事会において、下記の通り正会員16名、準会員2名、賛助会員1社、公共会員1団体の入会が承認されました。

.....
(正会員16名) ○細川 好一（富士ソフト）○牧 喜代司（トヨタ自動車）○加藤 浩幸（三菱電機）○並川 恭明（コーデンシ）○山本 誠司（新日本監査法人）○菊水 健人（島津デバイス製造）○辰己 竜一（桜技術研究所）○金崎 登士巳・森田 真弘（竹中工務店）○江崎 澄雄（関西ペイント）○平松 完昭（協和発酵工業）○瀧野 けんじ（日本電気）○榊原 茂人（リコー）○白井 啓道（樹研工業）○笈川 和明（日本品質保証機構）○仲宗根 房子（中部徳洲会病院）

.....
(準会員2名) ○秋山 修一（青山学院大学）○ALAM MD. MESBAHUL（電気通信大学）

.....
(賛助・公共会員2社2口) ○新日本石油 ○武蔵工業大学横浜キャンパス情報メディアセンター

正 会 員：2872名

準 会 員：104名

賛助会員：178社205口

公共会員：23口

新規研究会を受け付けます

研究開発委員会では、本年度に設置する新規公募研究会の申請を受け付けます。奮って申請してください。とくに若手会員を主査とする研究会を歓迎いたします。

研究期間：2008年4月～2009年3月（1年間）

申請方法：「新規研究会設置申請書」（様式204-1）をホームページよりダウンロードし、ご記入の上、郵送で本部事務局宛にお送りください。
http://www.jsqc.org/ja/oshirase/kenkyuukai_shinki.html

申込締切：2008年2月12日(火)必着

研究会の申請と運営：

○研究会の申請にあたり、申請者は共同研究者（学界・産業界）を5～10人位事前に働きかけて集め、申請書に記入する。理事会承認後JSQCニュースでメンバーを公察する。

○研究目的と年間の研究活動計画を作成する。

○1研究会のメンバーは20人まで。

○会場は原則として日本科学技術連盟東高円寺ビル会議室。

○時間は18時～20時。ただし会場の都合がつけば午後でも可。食事支給。

○研究会運営費は一人1回当たり1150円（内訳：通信費・資料代・食事代）ただし年間開催数は11回を限度とする。